



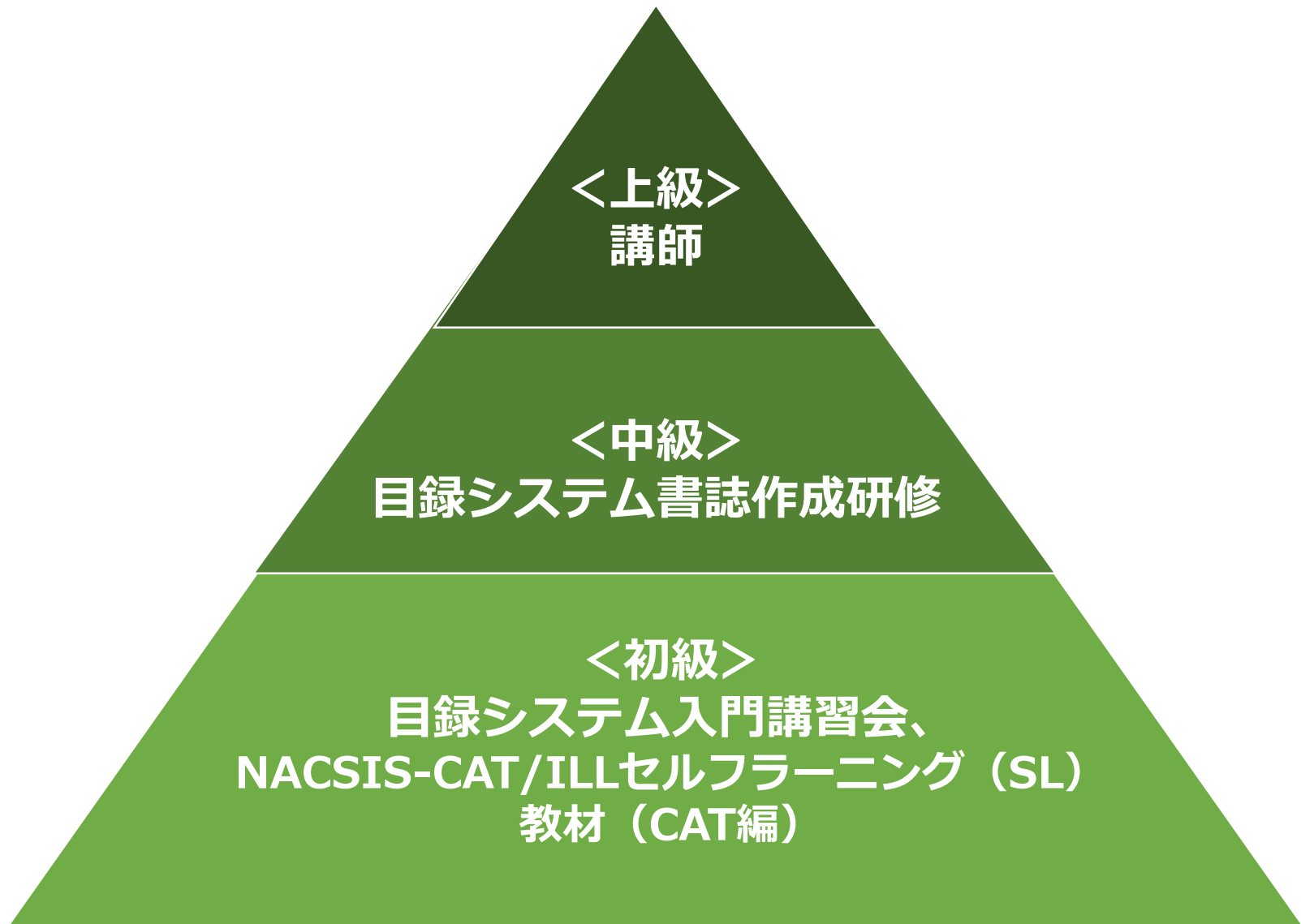
リニューアル!!

2021年度 目録システム 書誌作成研修

国立情報学研究所 書誌作成研修企画WG

九州女子大学 矢崎 美香

NIIの目録担当者向けの研修体制



目録システム書誌作成研修とは

研修の目的

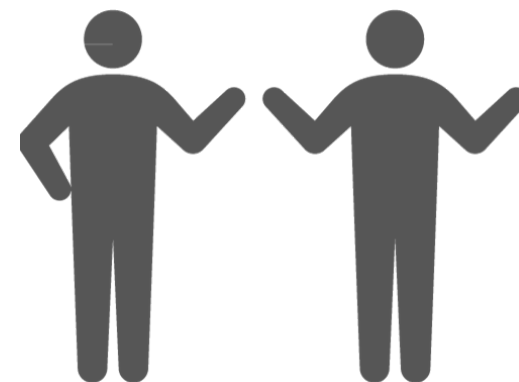
1. 多様な書誌事例について理解を深める
2. NACISIS-CATの円滑な運用に必要な知識・技能を修得する
3. CAT2020にも対応できる総合的視点を身につける

到達目標



適切なツールを
参照して書誌を
作ることができる

目録情報の基準
コーディングマニュアル
各種資料取扱いマニュアル
公開電子資料アーカイブ
etc.



他の目録担当者に
ツールの提示等の
支援ができる

目録システム書誌作成研修とは

受講条件

国立情報学研究所
目録システム講習会

受講済

※
1

セルフレARNING
(SL)教材 CAT編

学習済

※
2

目録業務
経験通算

1年
以上

※
3

- ※1 目録システム講習会は平成27年度で終了しています
- ※2 図書コース, 雑誌コースのいずれかがかまいません

- ※3 書誌データ内容自体の作成や修正はしていない場合は業務経験として扱いません

研修内容

図書

版と刷の区別

視聴覚資料

古典籍

著者標目

オンデマンド版

NCR2018

ERDB-JP

CAT2020



雑誌

図書と雑誌の境界にある資料

モノグラフ

電子ジャーナルに切り替わった雑誌

難易度



研修内容

図書

...

雑誌

オリジナル書誌の作成や記述内容の修正が必要となる資料を扱います

難易度



現行研修の流れ

1. 事前課題

送付された事前課題に取り組んでから研修に臨みます



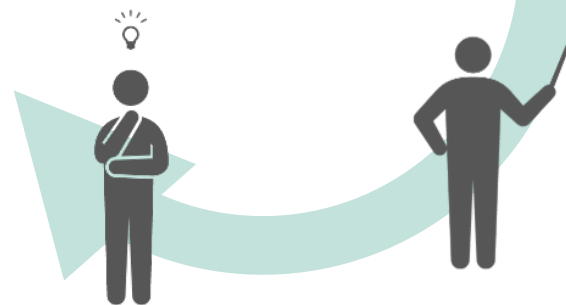
2. グループワーク

研修では班ごとに課題への解答を作成します



4. 解説と復習

発表後にファシリテーターから解説がなされます
研修終了後に送付される解説資料で復習することもできます



3. 解答の発表

解答の根拠となった「目録情報の基準」等のツールの該当箇所を示しながら解答を発表します



新たな研修の流れ

1. 事前研修

S L 教材

事前課題

送付された事前課題に取り組んでから研修に臨みます

①

②

③

3. 事後研修

フォローアップ研修

Web研修

研修終了後に送付される解説資料で復習することもできます

2. 当日研修

① グループワーク

② 解答の発表

③ 解説

解答の根拠となった「目録情報の基準」等のツールの該当箇所を示しながら解答を発表します

研修では班ごとに課題への解答を作成します

発表後にファシリテーターから解説がなされます

リニューアル!!

**新しい研修内容のそれぞれの
特徴をこのあとご紹介いたします。**